

施策の一つバス交通体系の確立が始まる！

町コミュニティバス

平成18年4月1日 運転開始!!

当別町議会も四月十一日

総務常任委員会（所管委員会）で試乗

町民の足の利便性を検証!!



バス運行を待ちわびたように集まる人々

平成18年第1回定例会は、3月3日～14日まで（4日、5日、8日～13日は休会）の12日間の日程で開催されました。初日には、泉亭町長と高橋教育長がそれぞれ平成18年度町政及び教育行政執行方針を行いました。これに対し5名の議員が代表質問をしました。

また、休会中に平成18年度当別町各会計予算審査特別委員会（白木委員長）で集中審査し、採決の結果、提案議案すべてを原案のとおり可決しました。

5名の議員が一般質問をしました。



行財政システム再構築プランに
基づいた予算が議決される!!

〜九つの重点施策を中心に〜

平成十八年度予算は予算審査特別委員会を設置し、慎重に審査し、採決の結果、可決しました。

本定例会では、危機的な財政状況を反映するように一般会計及び七特別会計の総額は前年を〇・九%下回り、一般会計は六年連続マイナスの緊縮予算編成で前年対比一・九%減の九〇億円となっている。

議案についても、歳入・歳出に配慮した内容が多く、町長・助役・教育長の期末手当の減額、当別町農村環境改善センター使用料・当別町下水道使用料などの見直しなどが見受けられる。

また、石狩北部地区消防事務組合の本部が石狩市に移転することを受けた規約の変更や、市町村合併等による地方自治体の枠組みの改変など様々な状況から北石狩衛生施設組合を解散する協議について提案された。今後については石狩市に事務委託していく方針である。

9つの重点 当別



自治功労者 受賞

竹田和雄 議長



柏樹 正 議員



助役に 近藤 充徳氏 を選任!!



平成十八年三月三日、第一回定例町議会に先立ち平成十八年二月九日、全国町村議会議長会より自治功労者として表彰を受けた竹田和雄議長、柏樹正議員に、表彰状の伝達が行われました。

今回の表彰は、町村議会議員として三十年の永きにわたり議会制度の高揚地域の振興及び住民福祉の向上に尽された功績によるものです。

長年のご苦労に対し、感謝とお祝いを申し上げます。

第一回定例会最終日の三月十四日、佐々木保助役が平成十八年三月三十一日をもって退職することから、後任に近藤充徳氏が満場一致の同意を得て助役に選任されました。

同氏は、昭和四十年に当別町に奉職し、水道部長、企画部長を歴任し、平成十七年三月三十一日に退職後、当別町シルバー人材センターで勤務され、現在に至る。

(北栄町在住・六十二歳)

一般会計 増額補正

平成十七年度当別町一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ三億九千四百二十六万円増額しこれを可決。総額百五億九百八十九万円となりました。

歳出の主なものとしては、減債基金、二億七千四百五十二万七千円、財政調整基金増、六千五百九十九万円、国民健康保険特別会計繰出金増、三千六万五千円、老人保健特別会計繰出金増、二千九百四十四万九千円、下水道事業特別会計繰出金増、九千八百三十九万九千円などを増額補正しました。

代表質問!!

定例会初日の町長・教育長の平成十八年度町政及

一般質問!!

一般質問は三月十四日に行われました。

白杵英男議員、石川和栄議員、桑内雅彦議員、柏樹正議員、岡野喜代治議員の五名が登壇し、町政を正しました。詳しくは九ページから十三ページに掲載しています。

議員提案

議員提案第一号

平成十八年度における当別町議会の議員の期末手当の減額に関する条例の提出について

提出者・ 谷 茂

平成十八年度予算に関連があり、十八年度予算とともに一括平成十八年度当別町各会計予算審査特別委員会に付託し、本会議での採決の結果可決。

【原案可決】

平成十八年度酪農畜産政策・価格対策の確立に関する意見書の提出について

提出者・ 谷 茂

【原案可決】

固定資産評価審査委員会委員に 梅枝 正春 氏



梅枝正春 氏
(元町 58歳)

固定資産評価審査委員会委員の梅枝正春氏は、平成十八年3月19日をもって任期満了となることから、再任について町長より提案があり、議会は満場一致で同意しました。